



あなたも
歩いてみたい



「青いレモンの島」にまた一つ、新しい魅力スポットが生まれました。それは西部地区に整備を進めていた『レモンの散歩道』。このほど完成しました。

コースは県道西部入口（沢田兼子さん宅横）を起点に、中道（祥雲寺参道）農道大島線（神社前）県道西部海岸（児玉武さん宅横）に至る約1キロメートルです。

初めて島を訪れた人にも、これがレモンだとすぐにわかってもらえるよう、四季折々にレモンの花や香りを楽しめるコース取りとなっています。

もともとレモンがたくさん植えられていた地区ですが、新たに苗木を植えた所もあります。数年後に実をつけるまで、みなさんで暖かく見守ってください。

そして、たまにはお好きな人と二人して、のんびり歩いてみてください。レモンの香りがきつこのメロディーを運んでくれるはずですよ。

戸幼なじみの想い出は青いレモンの味がする…戸
ぜひ、お試しください。

無人販売所も
オープン
また、散歩道の起点付近に無人販売所が設けられました。毎月1日と15日の二回、生活改善グループのみなさんのお世話で店が開きます。季節の旬の野菜や花、そして意外なものが入るかも…。
お気軽にご利用ください。

桜まつり短歌・俳句作品

さる5月10日（火）の桜まつりで次のような短歌が投稿されました。積善山の見事な桜を見て思わずうがんだこの一首をみなさんにも味わってください。

*お茶飲めば にかいがいが ところがよし
桃色の花 ぼつりとうかぶ 黒瀬 真理(13歳)

*山並みは 桜に埋もれ うぐいすのこだま
しつづ さえ鳴き渡る 児島 暉子(39歳)

*延々と 桜並木のつづきおり 瀬戸のいわ
ぎの積善の山 因島市 武内 政幸(77歳)

*春うらら うららうららの桜花 夢見心地
の酔眼に映ゆ 新谷 満(45歳)
※以上、むつみ歌会の撰でした。

また、予想外の俳句も投句されていましたので紹介します。

*老の身を花積善にゆだねたり
瀬戸田町 浜田重幸(69歳)

*さみしさや春の終りの桜散る
弓削町 柏原充明(9歳)

*さくらさく みんなでおべんと おいしい
な 生名村 池本幸和(8歳)

*桜は満開、お腹は満腹！
(読み人知れず)

※以上、双葉俳壇の撰でした。